

日本生物学オリンピック 2015

本選（広島大会）

2015年8月20日～8月23日

於：広島大学

参加のしおり



2015年8月

国際生物学オリンピック日本委員会（JBO）

<http://www.jbo-info.jp/>

<http://www.jbo-info.jp/jbo/JBO2015/jbo2015-02.html>

はじめに

国際生物学オリンピックは、世界約 60 カ国の代表が一年に一度集い、生物学の知識や実験技量を競い合うコンテストです。生物学を志す高校生が様々なプログラムを通して、友情を育む国際交流の場ともなっています。2015 年は、デンマーク（オーフス市）で行われ、日本代表の 4 名は全員がメダルを獲得するという好成績を収めました。2016 年の国際生物学オリンピックは、ベトナムで行われます。

日本生物学オリンピック 2015 本選（広島大会）は、予選を通過した 80 名を対象に、広島大学において実験試験を行うものです。参加者全員（高校 3 年生も含む）のうちから、予選・本選を通じた成績上位者に金メダル・銀メダル・銅メダルが贈られます。また予選・本選の結果を踏まえ、高校 2 年生以下の 15 名が代表選抜試験に進むことになります。

代表選抜試験は 2016 年 3 月 21 日（月・振替休日）に科学技術館（東京）で行われ、4 名が日本代表として、2016 年の第 27 回国際生物学オリンピック（ベトナム大会）に派遣されます。

日本生物学オリンピック 2015 本選（広島大会）では、試験を行うだけではなく、広島大学での研究体験や施設見学等を通じて、最先端の生物学研究に触れていただき、そして生物学に対する志を抱いている参加者同士の交流を深めるなど、様々な企画を準備しています。

参加・不参加については、**8月3日（月）10時までに（期限厳守）**、Web サイトから回答もしくは、大会事務局 FAX (082-424-6570) 宛に参加申込書等送信で回答していただき、参加者は、「参加申込書」や「保護者承諾書」等の書類原本を、参加を辞退される方は「参加申込書」（参加しない旨を記入）を、返信用封筒にて、広島大学総合科学部内 日本生物学オリンピック 2015 本選（広島大会）事務局までお送りください。**（8月7日（金）までに必着）**

登録 Web サイト URL : <http://www.jbo-info.jp/Honsen2015>

ユーザー名 パスワードは郵送しています。

（重要）ユーザー名とパスワードは、関係者以外に漏らさないでください。

必ず①Web 登録または FAX での申込み、および、②書類原本の郵送の両方を行ってください。



- この「参加のしおり」は、皆さんが本選（広島大会）に参加するための手引書です。参加のためにご用意いただきたいもの、会場への経路、集合場所、宿泊施設などについてよく読んで準備を進めてください。当日も必ずこのしおりをお持ちください。
- 保護者の方は参加申込書・保護者承諾書等書類一式に添付している「**保護者控**」を保管願います。
- ご不明な点、不安な点などがありましたら、日本生物学オリンピック 2015 本選（広島大会）事務局までお問い合わせください。

<問い合わせ・連絡先>

〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1 広島大学 総合科学部内

日本生物学オリンピック 2015 本選（広島大会）事務局

電話：082-424-6570（平日 9:00-17:00） FAX：082-424-6570

日本生物学オリンピック 2015 本選（広島大会）

【日 程】 2015年8月20日（木）～ 8月23日（日）（3泊4日）

【会 場】 広島大学総合科学部等（広島県東広島市鏡山 1-7-1）

【参加費】 無料。期間中の宿泊、食事にかかる費用は主催者が負担します。

ただし、自宅と広島大学または前泊される場合の宿泊施設間の往復交通費は各自で負担してください。

【受 付】 8月20日（木）11:00 ～ 12:45 広島大学 総合科学部 K棟2階 玄関

※この時間内に昼食と受付を済ませてください。

なお、昼食は各自でご用意いただくか、広島大学内の食堂（有料）をご利用ください。

【開会式】 8月20日（木）13:00 広島大学 総合科学部 K棟2階 210講義室

【交通アクセス】

・広島大学ホームページトップ（<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>）から「交通アクセス・地図」→「東広島キャンパス」→「交通アクセス」をご覧ください。

・JR西条駅から広島大学までバスで約30分です。

（山陽新幹線・東広島駅は広島大学までのバス運行本数が少ないのでご注意ください。）

参考：東広島駅 7:45、9:25、10:25、12:20 のみ → 広島大学西口まで 15～20分

・「広島大学西口」バス停留所から徒歩3分です。

バス停留所から会場までは、きみどり色のTシャツを着た学生スタッフ（*SCIBO）が案内します。

*SCIBOとは、今大会のお手伝いをしてくれる学生スタッフのことです。

また、広島大学は広いキャンパスで周囲に8か所のバス停留所があります。

ほかのバス停留所（広大中央口や広大北口など）で下車されないようご注意ください。



【持参物】

- 「参加のしおり」
 - 本人確認ができる（原則として）写真付きの証明書（生徒手帳、運転免許証など）
 - 筆記用具（鉛筆を必ず数本ご用意ください。）
 - 着替え（試験室、ホテルは冷房がよく効いていますので長袖シャツをご用意ください。）
 - 雨具
 - 帽子
 - 洗面道具（必要に応じてご用意ください。）
 - 実験白衣（ヒザ丈）（お持ちでない方は事前にお申し込みください。事前申込者のみ購入可能です。）
 - 健康保険証（もしくは健康保険証のコピー）
 - 往復交通費等
 - 各自必要な医薬品・持病薬・目薬等
 - 虫除けスプレー及び虫さされ薬
- * 参考書などは特に必要ありません。
- * 実験に必要な器具などはすべてこちらで準備します。
- * 受付後、手提げバッグとTシャツ1枚を配ります。（Tシャツは3日目に全員着用します。）
- * 貴重品は常に携帯してください。金庫や預かりサービスはありません。

【服装】

- 生徒らしい普段着で結構です。
- 実験試験のために、動きやすい服装で参加してください。
(フード、ひも、過度の飾りなどがある服装は、実験時に危険です。)
- 靴はスニーカーなどの履きなれたものがよいです。サンダルやヒールのあるものは避けてください。
- 3日目の施設見学等では、長時間、屋外を歩くことが考えられますので、帽子等の日よけ対策、雨具等をご用意ください。

【宿泊】

宿泊先：広島エアポートホテル（〒729-0416 広島県三原市本郷町善入寺 64-25）

○電話：0848-60-8111（代表） ○ホームページ URL <http://www.h-airporthotel.co.jp/>

○広島空港から徒歩5分のところにあります。

期間中、ホテルと広島大学会場までの移動は専用バスで送迎いたします。

○宿泊は、全員ツインルームを相部屋で利用していただきます。

（人数の都合により、トリプルルームを相部屋で利用していただく場合があります。）

○チェックアウトは最終日（8月23日（日））の朝になります。

○広島エアポートホテルの設備等

・室内設備

テレビ、冷蔵庫、空気清浄機（加湿機能付）、ドライヤー、ズボンプレスサー（貸出）、電気スタンド（貸出）、ボディソープ、ボディスポンジ、シャンプー、リンス、ハミガキセット、カミソリ、タオル、バスタオル、浴衣、スリッパ、LAN ケーブル、Wi-Fi

・施設サービス・設備

マップ、クリーニング、ズボンプレスサー貸出、宅配便、自動販売機 車椅子対応

【食事】

- 食事は、8月20日（木）の夕食から、8月23日（日）の昼食までの全食事を用意します。

アレルギーなどで食事に制限のある場合は、必ず「参加申込書」に具体的に記載してください。

- 8月20日（木）の昼食は各自でご用意いただくか、広島大学内の食堂（有料）をご利用ください。

【体調不良などの場合】

本選（広島大会）期間中は、広島大学保健管理センターに医師および看護師が常駐します。体調不良などの場合はスタッフに申し出てください。医師の指示で、応急手当または近隣の医療施設への搬送を行います。診察・治療を受ける場合もありますので、健康保険証（もしくはコピー）を必ずご持参ください。

【白衣のサイズ】（事前申込者のみ購入可能です。）

男性 : 165 cm～173 cm、 170 cm～178 cm、 175 cm～183 cm、 180 cm～188 cm

女性 : 150 cm～158 cm、 155 cm～163 cm、 160 cm～168 cm、 165 cm～173 cm

ボタンのかけ方で男性と女性が違います。

【Tシャツサイズ】

3日目の施設見学および最先端研究室訪問時に着用するTシャツを1枚配付します。

以下のサイズ表を確認して参加申込時にお申込みください。

（単位：cm）

	XXS	XS	S	M	L	XL	XXL
身幅	42	45	48	51	54	57	60
着丈	59	62	65	68	71	74	77
裾丈	18	19	20	21	22	23	25



裾丈:後襟中央から袖先までの長さ

【前泊が必要な場合】

遠方からの参加者で前泊（8月19日（水））が必要な場合、大会期間中と同じホテルを予約できます。
ご希望の方は、参加申込書に希望の旨をご記入ください。ただし、自己負担となります。

参加申込み後、やむを得ない事情によりキャンセルや、遅刻する場合は、できるだけ早く連絡してください。

【連絡先】

<連絡先 大会期間直前及び大会期間中>

〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1 広島大学総合科学部内

日本生物学オリンピック 2015 本選（広島大会）事務局

電 話：082-424-6570（平日 9:00-17:00 及び 大会期間中）

E-mail：olympic@hiroshima-u.ac.jp

※メールで問い合わせを行う場合は、件名を「JBO 問い合わせ」としてください。

（注）8/12~14 は大会事務局閉室 休日扱い

【その他留意事項】

本選期間中は、参加者は運営スタッフの指示に従って行動してください。

貴重品は、各自で紛失等のないように十分気をつけて管理してください。

【タイムスケジュール】

*主催者の都合で行事や時間帯を変更することがあります。

日	時			場所
1日目 8月20日 (木)	11:00~12:45 ※注		受付	K棟2階玄関 K210 H201、H204 " 西2福利会館 広島エアポートホテル
	13:00~13:30		開会式	
	14:00~16:00		実験試験Ⅰ／Ⅱ	
	17:00~19:00		実験試験Ⅱ／Ⅰ	
	19:30~20:30		夕食(実験試験Ⅰ／Ⅱ解説)	
21:30		宿泊		
2日目 8月21日 (金)	6:30~ 7:30		朝食	広島エアポートホテル H206、H302 H201、H204 選手控室(J206、J306) H201、H204 西2福利会館 " 天文台 広島エアポートホテル
	8:15		出発(8:00集合)	
	9:00~10:30		実験試験予備体験Ⅲ／Ⅳ	
	11:00~13:00		実験試験Ⅲ／Ⅳ	
	13:15~14:15		昼食(弁当)	
	14:30~16:30		実験試験Ⅳ／Ⅲ	
	17:00~18:00		実験試験Ⅲ／Ⅳ解説	
	18:00~19:00		夕食	
	19:30~21:30		天文台見学	
	22:00		宿泊	
3日目 8月22日 (土)	6:30~ 7:30		朝食	広島エアポートホテル 東広島キャンパス 北1食堂/大学会館 各学部 東広島キャンパス 霞キャンパス 霞会館 各学部
	8:15		出発(8:00集合)	
	A~G ｺｰｽ	9:00~12:15	施設見学	
		12:30~13:20	昼食(弁当)	
		13:40~17:20	最先端研究室訪問	
	H~N ｺｰｽ	9:00~10:15	施設見学	
		11:15~12:00	医学資料館見学	
12:10~12:50		昼食(弁当)		
13:10~16:20		最先端研究室訪問		
18:30~20:30		夕食(交流会)	学士会館レセプションホール 広島エアポートホテル	
21:00~		自由時間、宿泊		
4日目 8月23日 (日)	7:00~ 8:20		朝食、チェックアウト	広島エアポートホテル 学士会館レセプションホール " " " 東広島駅→西条駅→広島空港行
	8:45		出発(8:30集合)	
	9:30~10:00		大会アンケート記入	
	10:00~12:00		表彰式、閉会式	
	12:00~12:30		写真撮影・解散	
	12:30~13:20		昼食【パンバイキング】	
	13:40		送りバス出発	

※注：受付は11:00から開始します。

12:45までに昼食と受付を済ませてください。

なお、昼食は各自でご用意いただくか、広島大学内の食堂(有料)をご利用ください。

施設見学及び最先端研究室訪問の紹介

【天文台見学】

2日目の夕食後、広島大学宇宙科学センター附属東広島天文台の見学を行います。この天文台には国内最大級（主鏡の有効径は1.5m）の「かなた望遠鏡」があります。

(URL:http://www.hiroshima-u.ac.jp/hasc/institution/hho_kanata/)

【施設見学・最先端研究室訪問】

3日目は朝から3つのグループに分かれ、広島大学にある展示施設や研究施設の見学を行います。午後からは、さらに5~10名の小グループに分かれて19の研究室にて最先端の研究に触れます。

以下の案内文を参照して、「参加申込書」等にて、興味のあるコースを**必ず5つ**お知らせください。

そのうちの1つに参加していただきます。コースの参加人数に上限があるため、希望に添えない場合もあります。

コース	見学施設	最先端研究室
Aコース	広大エコミュージアムツアー、 自然科学研究支援開発センター (N-BARD)	植物分子細胞構築学
Bコース		附属両生類研究施設
Cコース		細胞物質化学、細胞工学
Dコース	自然科学研究支援開発センター (N-BARD)、附属両生類研究施設、 総合博物館	微生物機能学、植物栄養生理学
Eコース		水族生理学、分子栄養学
Fコース		家畜生体機構学、水圏生物学
Gコース		生命科学研究領域脳科学、 自然環境研究領域環境生態学
Hコース		附属両生類研究施設、医学資料館
Iコース	脳神経内科学、治療薬効学	
Jコース	整形外科学、脳神経内科学	
Kコース	放射線診断学、細胞分子薬理学	
Lコース	病院病理診断科、解剖学および発生生物学	
Mコース	細胞分子薬理学、病院病理診断科	
Nコース	治療薬効学、整形外科学	

【見学施設】

○広大エコミュージアムツアー（総合博物館） ‹‹A~Cコース››

サテライト（分館）、発見の小径（自然散策道）で構成されるエコミュージアムツアーでは、サテライトで各学部の専門的な展示を見学し、発見の小径ではキャンパスに生息する絶滅危惧種を含む多種多様な動植物を見ることができます。ここ西条盆地でしか見ることのできない植物「サイジョウコウホネ」や日本最小のトンボ「ハッチョウトンボ」なども自生しています。また、先史から鎌倉時代までの遺跡や出土した考古遺物を見学することもできます。さあ、みんなで発見の旅にでかけましょう！

なお、雨天時は、総合博物館及びサテライト館の展示物を見学します。

○自然科学研究支援開発センター（N-BARD）遺伝子実験部 ‹‹A～G コース››

自然科学研究支援開発センター・遺伝子実験部門は、広島大学での遺伝子組換え実験の安全管理体制への支援および遺伝子組換え実験に関係する共同利用設備・先端研究機器の提供並びに DNA 塩基配列決定を始めとする技術サービスによる研究支援を行っています。また、高校生の遺伝子科学体験実験の実施や実験材料の提供などを通して、遺伝子科学教育の普及に広く努めています。

○総合博物館 ‹‹D～G コース››

広島大学総合博物館は、広島大学東広島キャンパスの 250ha もの広大なキャンパス内に博物館本館、サテライト（分館）、発見の小径（自然散策道）を展開する「キャンパスまるごと博物館（エコミュージアム）」です。本館には、広島大学の学術研究に関する標本約 1000 点を展示し、大学史、宇宙・地球、里海、里山の紹介をしています。なかでも、恐竜の糞石や卵等の触れる化石群、月の石の本物、NASA から贈呈された感謝状、動物剥製が見所です。学術標本通じて、広島大学の研究・教育の魅力を体感してください。

○附属両生類研究施設 ‹‹D～N コース››

実験動物として様々な利点を持つ両生類を安定して、しかも大規模に飼育維持できる世界でオンリーワンの施設です。この特徴を生かし、発生・遺伝・進化などの分野で先駆的な研究を展開しています。現在、野生系統・突然変異系統・遺伝子改変系統（ゲノム編集）・絶滅危惧種などを継代維持するとともに、モデル両生類「ネツタイツメガエル」の近交化・標準系統樹立・提供を行い、両生類研究の世界拠点形成を目指しています。

○医学資料館 ‹‹H～N コース››

広島大学医学部医学資料館は、昭和 53 年（1978 年）11 月 2 日に国立大学医学部最初の資料館として開館し、その後、新築移転を経て、平成 11 年 10 月に本医学資料館が竣工されました。ここに、世界、日本、広島、広島大学の医学の歴史を示す種々の資料を収集、展示しています。江戸時代、死体解剖が一般的でなかったころ、医学教育のために作られた、人骨の模型「木骨」もその一つです。極めて精巧に作られており、医学とその教育への熱意が感じられます。

【最先端研究室】

‹‹A コース›› 植物分子細胞構築学（鈴木克周 先生、守口和基 先生、山本真司 先生）[理学部]

「ミクロの注射器アグロバクテリアを扱ってみよう」

アグロバクテリアという細菌は植物細胞に DNA とタンパク質を注入して根頭癌腫病を生じさせます。遺伝子組換え植物をつくるためにミクロンサイズの注射器として活用されているこの細菌について解説すると共に、植物体等への感染実験を体験して理解を深めてもらいます。また、理学部生物科学科の魅力についても紹介します。

◀B コース▶ 附属両生類研究施設（鈴木厚 先生、竹林公子 先生、古野伸明 先生）[理学部]

「カエル卵の受精・誘導・顕微注入の実験体験と研究紹介」

減数分裂を経て成熟した卵細胞が受精すると、全能性を持つ受精卵になります。そこから誘導因子の作用により組織・器官が生じ、体が形づくられます。受精、組織・器官の誘導、顕微注入の実験を体験していただき、両生類が貢献したノーベル賞や最新のゲノム研究について解説します。また、理学部生物科学科の魅力についても紹介します。

◀C コース▶ 細胞物質化学（上野勝 先生、湯川格史 先生）[工学部]

「細胞ががんを防ぐ仕組みの観察」

細胞はがんを防ぐために、遺伝子の傷を見つけたり、直したりできます。本実験では酵母を使って遺伝子の傷に対する細胞の応答を最先端のスピニングディスク共焦点蛍光顕微鏡などを用いて観察します。

◀C コース▶ 細胞工学（黒田章夫 先生、廣田隆一 先生、池田丈 先生）[工学部]

「接着性タンパク質を利用した固体表面上へのタンパク質固定化」

タンパク質はたった 20 種類のアミノ酸でできていますが、アミノ酸の種類・順番の組み合わせによって様々な機能を発揮します。中には、本来とは別の機能として固体表面への接着性を示すタンパク質もあります。本実験では、そのようなタンパク質を利用して、ガラスなどにタンパク質を固定化します。

◀D コース▶ 微生物機能学（船戸耕一 先生）[生物生産学部]

「酵母へ遺伝子を導入し、遺伝子産物の局在を観察してみよう」

酵母は酒類やパンの製造に使われる馴染み深い微生物です。ヒトと同じ真核生物であることから、有用物質の生産のための微生物工場としても用いられています。本体験では、GFP 融合タンパク質をコードする遺伝子を酵母に導入し、その遺伝子産物の局在を調べる実験を経験してもらいます。

◀D コース▶ 植物栄養生理学（実岡寛文 先生、上田晃弘 先生）[生物生産学部]

「植物の栄養診断をしてみよう」

植物の健全な生育には様々な栄養元素が必要です。植物の見た目の診断や元素分析を行うことで、どの栄養元素が不足しているのかを判断し、植物の栄養診断について学びます。

◀E コース▶ 水族生理学（吉田将之 先生）[生物生産学部]

「ニューロンの声を聞いてみよう」

脳を構成するニューロンは、小さな電気パルスを発生して信号を伝えます。この電気パルスを増幅すると、目で見て観察でき、音として聞くこともできます。この実験では、キンギョの脳のニューロンが発生する電気パルスを記録する実験を体験します。

«E コース» 分子栄養学（矢中規之 先生）[生物生産学部]

「マウスの脂肪細胞を観察してみよう」

近年、肥満率の上昇は生活習慣病との関係から社会的な問題になっています。本体験では脂肪組織を構成する脂肪細胞の中に存在する脂肪滴を染色する など細胞の観察を行ないます。細胞培養実験のいろいろな有用性についても説明していきます。

«F コース» 家畜生体機構学（吉村幸則 先生、磯部直樹 先生）[生物生産学部]

「乳成分を詳しく調べてみよう」

乳はもともと子に与えるための重要な食事です。そのため、乳には様々な有効成分が含まれています。今回はヤギの搾乳を体験してもらい、そのヤギ乳の成分を分析します。

«F コース» 水圏生物学（海野徹也 先生）[生物生産学部]

「魚の卵仔稚の世界へ」

魚は私たちにとって大切なタンパク源ですが、卵や仔魚の性質についてはあまり知られていません。魚卵の観察や種同定方法、仔魚の耳石を用いた日齢査定などを通じて、卵仔稚学への理解を深めてもらいます。

«G コース» 生命科学研究領域脳科学（浮穴和義 先生）[総合科学部]

「動物組織からの生理活性物質の探索を体験してみよう」

私達の体には、アドレナリンのような生理活性物質が数多く存在しています。私の研究室では、未知の生体物質を探索し、それらの機能解析を通じて新しい生体調節機構の解明を進めています。その探索方法を紹介します。

«G コース» 自然環境研究領域環境生態学（久我ゆかり 先生、勝山千恵 先生）[総合科学部]

「微生物との共生：機能と構造を観る」

植物の根と真菌の共生である菌根の組織、共生菌の中に共生している細菌、そして共生細胞などを、蛍光顕微鏡、透過型電子顕微鏡などで観察してもらいます。観察を通じ、共生における生体元素の流れを安定同位体トレーサーにより細胞レベルで解析する研究等について紹介します。

«H/L コース» 解剖学および発生生物学（青山裕彦 先生）[医学部]

「卵の中のニワトリ胚を見てみよう」

ニワトリ胚には目で見ながら特定の組織を操作（遺伝子導入も含め）できるという利点があります。今回は、卵殻に窓を開け中の胚を生きたまま観察する操作を実際にやってもらいます。これはニワトリ胚操作の基礎技術です。

「I/Jコース」 脳神経内科学（高橋哲也 先生）[医学部]

「病気になった神経細胞を観察してみよう」

認知症等の脳の病気では神経細胞の数が減少します。神経細胞死を迎える前の神経細胞を顕微鏡で覗くと細胞内で様々な変化が生じていることがわかります。これらの変化を観察してもらいながら脳でどんなことがおこっているのか解説します。

「J/Nコース」 整形外科学（安達伸生 先生、亀井直輔 先生）[医学部]

「細胞を磁場でコントロールしてみよう」

鉄ナノ粒子を取り込ませた細胞をひざ関節に注射し、磁場でコントロールすることで傷ついた軟骨を再生する治療をすでに患者さんに行っています。磁石を使った細胞のコントロールを体験してみましよう。

「K/Hコース」 放射線診断学（粟井和夫 先生）[医学部]

「CT と MR で身の回りの物を撮ってみよう」

CT や MR は撮影対象の内部構造を画像化することができる画像診断装置であり、臨床現場では病態の診断に活用されています。今回はそれぞれの装置の画像化の原理を簡単に説明し、身の回りにあるものを撮影してどのような画像になるか紹介します。

「L/Mコース」 病院病理診断科（有廣光司 先生）[医学部]

「ヒトの臓器ってどんなふうになっているの？」

病理解剖により取り出されたヒトの様々な内臓を見て、触ってみましよう。次に光学顕微鏡でそれらの臓器の組織像を観察し、形態像と機能を考えてみましよう。更にヒトの臓器に発生したガンを見たり、ガンに見られる遺伝子異常を FISH 法により観察してみよう。

「M/Kコース」 細胞分子薬理学（兼松隆 先生、山脇洋輔 先生）[歯学部]

「薬の刺激による細胞の遺伝子発現変化を調べてみよう」

私たちの人体には、褐色脂肪細胞という熱産生を専門に営む細胞があります。この細胞を薬物で刺激して熱産生に関わる遺伝子の発現変化を解析します。

「N/Iコース」 治療薬効学（小澤孝一郎 先生、細井徹 先生）[薬学部]

「細胞培養を体験してみよう」

生体の応答機構や創薬の解明には、培養細胞を用いた実験は極めて有効なツールとなります。今回は、実際に細胞培養の操作を体験してもらいます。さらに、個体レベルへ発展させ、現在創薬研究に有用なモデルとして注目されている線虫の観察も行ってもらいます。

【閉会式後のパンバイキング（自由参加）】

閉会式・表彰式終了後、解散となりますが、式場にパンと飲み物を用意していますので、自由に食べながら参加者同士や大学生スタッフと交流し、別れを惜しみ楽しんでいただけたらと思います。参加は自由なので、帰宅の交通機関の時間に合わせてお帰りください。

【解散後の送りバスについて】

東広島駅→西条駅→広島空港行きの送りバスを用意していますので、ご利用ください。

★送りバス発車時刻等（予定） 13時40分頃発

【本選期間中の注意事項】

本選（広島大会）中、実験試験を受ける際は、休憩の時間も含め、携帯電話の使用や携帯することを禁止します。試験日1日目の20日は携帯電話を荷物に入れた状態でお預かりします。

試験日2日目の21日は携帯電話を封筒に入れた状態でお預かりします。試験室には掛時計がありますが、腕時計（時計機能のみ備わったもの）の着用は制限しません。

【よくある質問と答え】

Q. 宿泊は一人部屋ですか？受験生なので勉強をしたいのですが。

A. ツインルームを相部屋で利用していただきます。国際生物学オリンピックにおいても相部屋になるため、選抜試験の段階から慣れていただくためです。

なお、人数の都合により、トリプルルームを相部屋で利用していただく場合があります。

Q. 実験試験予備体験とはなんですか？

A. 実験試験においては器具を使ったことがあるかどうかで差が出てしまうことがあります。そのようなことを防ぐため、器具等の使い方を事前に体験してもらいます。